



5年ぶりにYSクリンが新しくなりました。

New

オゾングリストラップ脱臭・浄化装置

脅威の
浄除脱
化菌臭
カカカ



ここが変わった



- ①屋外での使用が可能になりました。※
- ②ポンプの交換部品の耐久性が70%UP!!※
- ③セパレートでも一体型!!

※弊社従来品 YS750GTR との比較



YSクリン
YS750GT!



これ1台であの悪臭やわずらわしさも解消!
最先端の衛生管理。

「低濃度オゾンガス」で「強力脱臭」。イヤな臭いを徹底的にカット!!

YSくりん
YS750GTI

YSくりんとは？



グリーストラップを
脱臭・浄化して
清潔にします。

グリーストラップの容量に合わせて
3種類に機種をご用意 (250、500、750 ℓ)

設置による効果

低濃度オゾンガスを曝気させることにより
グリーストラップ槽に滞留する厨房排水中
に次の効果をもたらします。

●グリーストラップの、**悪臭を即時に抑えます。**

●**油脂分を、強力かつ短時間で分解。**

●**有機物の分解除菌効果により
BODを減少し、除外設備への負荷を低減。**

●**害虫の卵を不活性化し、
成虫は忌避効果で周辺に寄りつかなくなります。**

「YSくりん」は低オゾンガスで、グリーストラップ内を脱臭・洗浄。
バイオタイプとは違い、
少ない手間とコストで常に清潔な状態を保つことができます。

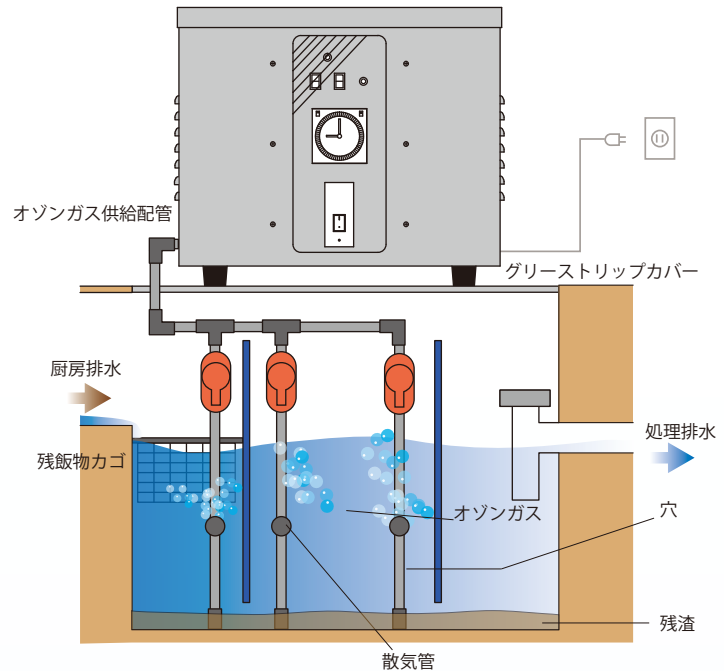


YSくりん 設置洗浄前のグリーストラップ



YSくりん 設置後11日経過のグリーストラップ

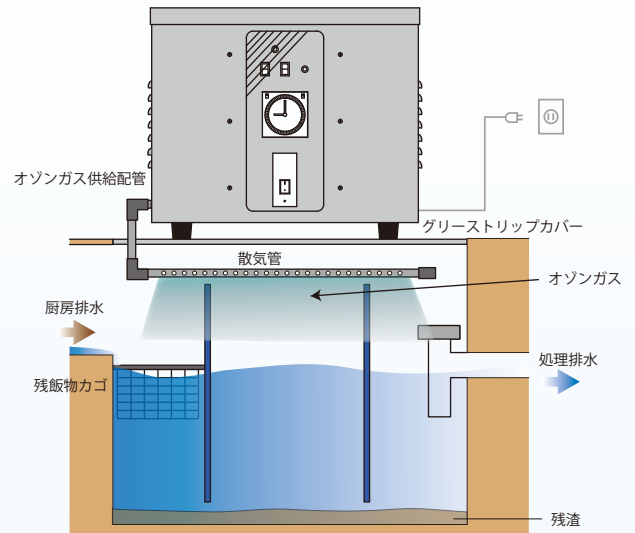
YSくりんの設置イメージ



※基本的には最終槽へのバブリングは、攪拌による油分の槽外への流出防止の為、行ないません。第1槽目へは残飯物カゴ内残飯が暴れないように中程度のバブリングに調整をします。底面より上部20cm程度でバブリングすることにより残渣の巻上げを防止します。
※運転時間は繁忙時間帯はタイマーにて停止して、厨房排水流入の少ない時間帯および営業時間外に運転をします。

水中でオゾンガス曝気できない場合は

槽内上部の空間にオゾンガスを薫蒸し脱臭します。



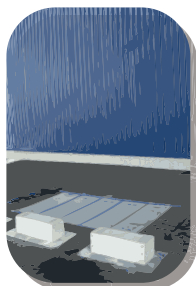
YSくりんによるグリーストラップ排水浄化データ事例

計量項目	計量方法	2005/4/25 (稼動前)	2005/5/9 (稼動後)
生物学的酸素要求量 (BOD)	JIS K0102 21, 32.3	2000 mg/l	210 mg/l
浮遊物質 (SS)	S46 環告 59 号付表 8	320 mg/l	42 mg/l
ノリマハキサン抽出物質含有量 (N-he x)	S49 環告 64 号付表 4	770 mg/l	6.3 mg/l
検査機関	株式会社 日本分析 〒175-0094 東京都板橋区成増 3-23-9 建築物飲料水資質検査業東京都 56 水登録第 323 号 計量証明登録事業所登録濃度 557 号		

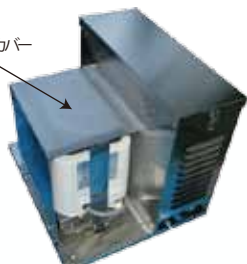
ここが新しくなった!! 5年ぶりの改良で大きく進歩

①屋外での使用が可能になりました。

従来型YS750GTRは屋内設置仕様でしたが、YS750GTIシリーズから、屋外型グリストラップ対応へのニーズに応え、防滴効果を高めました。



オプション：ポンプカバー

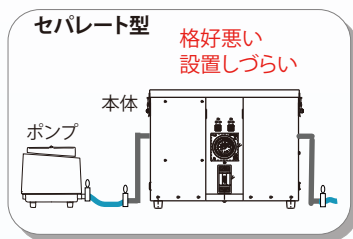
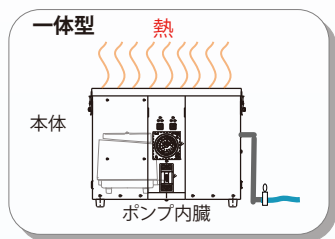


※直射日光、直接雨が
かかる場所への設置は控
え、ひさし等の下への設
置を条件とします。ひさしが
小さい場合にはオプション
でポンプカバーひさしを
ご購入ください。

②ポンプの交換部品の耐久性が70%UP!!

③セパレートでも一体型!?

グリストラップ槽内にオゾンを送り出すポンプは非常に熱を持つため、従来品YS750GTRの様にポンプを本体内部に設置する一体型ですと、本体内部の温度上昇によりポンプの消耗交換部品の寿命が比較的早く来てしまいます。



本来はポンプと本体はセパレートで設置することが望ましいのですが、「格好が悪い」「設置が面倒」などの理由から一体型が支持されてきました。

そこで新型のYS750GTIでは図の様にポンプを表に出し冷却効果を高め、同一プレートに配置することにより、一体型の良さとセパレート型の良さを両立させました。

新型
YS750GTIを横から見たところ



オゾンタイプがなぜいいの? 酵素・バイオタイプより高性能

オゾンは広範な環境下で安定した効果が得られます。



オゾンによる油脂分解は生体化学反応ではなく、純粋な化学反応は広範な環境下で効果を発揮します。バイオ酵素タイプは熱湯、強アルカリ洗剤等が流入すると活動菌・酵素が死滅することがあります。よって管理が困難で、多忙な厨房には不向きです。

短期間で効果が現れ、運転の管理もラクラク。

オゾンタイプは設置直後から効果が実感でき、かつ消臭・除菌能力が高いので清潔な衛生状態が持続します。バイオ・酵素タイプは効果安定(増殖完了)まで40日程度かかり、常時排水が流れこむグリストラップには不向きです。

オゾンタイプはなぜお得? 低コストで環境にもやさしい

化学薬品を使用しないので有害な化合物が残りません。



化学薬品、バイオ製剤、酵素製剤は使用しません。使用するのはオゾンガスと水のみ。処理残留物は水と酸素だけ、だから環境にもやさしいのです。

稼働に必要なものは空気と電気のみ

「YSくりん」の運転に必要なものは「空気」と「電気」。バイオタイプなどの追加製剤は一切必要ありません。また、24時間対応On・Offタイマー内蔵でエコノミー運転を実現。消耗品も年に1回のオゾンランプの交換のみ。産業廃棄物も大幅に減らすことができ、経済的です。

消耗品

オゾンランプ:

クリアなオゾンを作り出すためのオゾンランプが内蔵されています。(1~3本)

寿命は約9000~10000時間連続運転で約1年になります。

※ブロウポンプのチャンパーブロックという部品が破損した場合交換が必要になります。ポンプメーカー推奨交換時期1年~1年半としています。(熱源の多い場所で使用した場合は寿命が短くなりますが、設置環境が良い場合は3年~5年持つケースがほとんどです。)

オゾンタイプの機械もいろいろ。 選び方は?オゾンにも良と悪がある!?

①オゾン発生方式はランプ方式を選ぶ

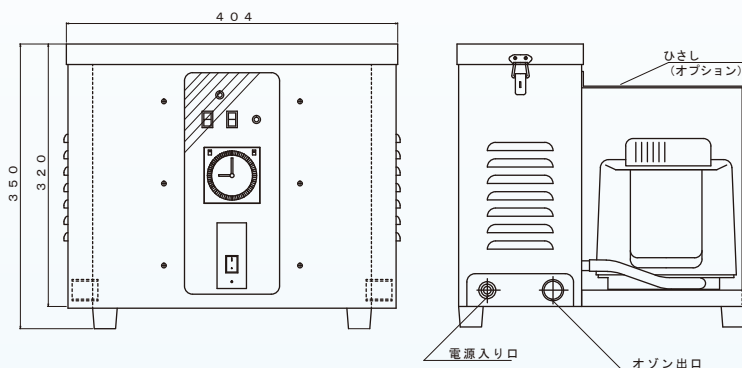
オゾンを発生する方法は大きく分けて2つ。ランプ方式か放電方式です。放電方式を選ぶとオゾン以外にNOx(窒素酸化物)や硝酸や亜硝酸塩という猛毒が副産物として出来てしまいますので避けましょう。グリーストラップそのものを傷めます。



②オゾン発生量は多すぎず

オゾン発生量は多ければ効果は上がりますが多すぎると空气中にオゾンが過度に放出されたりしてお勧めできません。厨房排水の場合、目安としては750リットルに対して70~100mg/h程度十分です。

外観寸法図



導入するにはどうしたらいいの? 確かな事前コンサルティング

専門スタッフの事前コンサルティングで
威力を最大に発揮させます。

実際に設置するにあたって、専門スタッフが必ず現状確認に伺います。そしてより効果的な設置スペースをご提案。さらにコンサルティングで「YSくりん」の脱臭除菌効果の威力が最大に発揮できるようにいたします。

設置例

※旧型YS750GTRの場合



埋め込み配管例



仕様

型式	YS250GT1	YS500GT1	YS750GT1
オゾン発生量 (mg/h)	30	30・60	30・60・90
オゾンガス流量 (L/min)	40 (20 選択可)	80 (40) 選択可	120 (60) 選択可
オゾン発生方式	冷陰極石英ランプ方式		
オゾンランプ	8W×1	8W×2	8W×3
濃度調整	なし	ランプ運転スイッチにて強・弱切替え	ランプ運転スイッチにて強・中・弱切替え
ランプ切れ確認方法	光ファイバーで操作パネル面で確認		
定格電圧	AC100V		
消費電力 (W)	55	110	170
外形寸法 (mm)	W404×L350×H350		
質量 (kg)	1.4	1.8	2.0
装置制御	2.4時間アナログタイマーで自動		
オゾンガス配管口径	RC1/2 (左右選択可)		
安全装置	過電流保護ブレーカー		
電源コード	3Pプラグ付き、3m		
動作環境	気温5~40℃以下/湿度10~60% 屋外可(直射日光は除外)、 配管長 5m以内、曲がり 10箇所以下		
材質	屋外仕様: SUS304 HLT仕上げ		
消耗品	オゾンランプ 1年(1万時間)で交換(目安)		
	吸気フィルター 3ヶ月に1回清掃、1年に1回交換		
	パワーフィルター 1年に1回交換		
	チャンパーブロック 1年半~5年に1回交換(使用環境により大きく異なる)		

※さらに大型の処理槽タイプのグリーストラップ、浄化槽などについては別途ご相談に応じます。お気軽にお問い合わせください。